

設備投資で生産効率追求

スカイ

非住宅対応、木軸パネル製造に焦点

スカイ（静岡県磐田市、金澤和孝社長）は、2エリア6工場に生産効率の高いラインを集約し、一般住宅から大型木造建築物まで広範な需要に総合的に対応している。2019年度の加工実績は9万3000坪。このうち非住宅物件は約15%



豊岡本社工場の加工ライン

で、CLTや大断面材場、金物工法専用のMに対応できる加工ラインF工場を運営しているが威力を發揮。今後は、付帯設備も充実しは20%台に焦点を合わせており、大断面材対応の特殊加工機や材料の美観を高める材表面清と豊岡太郎馬工場を、グ機能付きの4面プレ船明エリアで羽柄工ーナーなどをそろえて場、合板工場、柱工いる。

率の向上に努めている点。今春には船明柱工場の柱材加工ラインの更新と増設を実施し、全自動柱材加工機をはじめとするプレカット工場（京都府から500〜1000坪柱・小屋束舞鶴市）を持ち、構造を外注しており、特殊

特徴は、設備投資を随時実施して、生産効率の向上に努めている点。今春には船明柱工場の柱材加工ラインの更新と増設を実施し、全自動柱材加工機をはじめとするプレカット工場（京都府から500〜1000坪柱・小屋束舞鶴市）を持ち、構造を外注しており、特殊

加工の新鋭ライン体制を構築した。各ライン間の稼働時間の不均イコスは、中小判Cを解消し、時間当たりの生産効率を高めて工場従業員の負担軽減が図られている。CLTや大断面材等に対しては、全自動6軸加工機（ユニチーム）を使って、最大で材厚600×材せい3000、全長14m、背景にパネル化の必要性が高まったため、Mの開発も進めている。

プレカット軸工事業展開

辻井木材

WOOD・ALCのPC部材供給

辻井木材（京都市、材加工坪数は月間200坪ベース、このほかに500〜1000坪のプレカット工場（京都府から500〜1000坪柱・小屋束舞鶴市）を持ち、構造を外注しており、特殊加工の物件が多い。同社はプレカットを軸に事業を展開し、木材・建材・住設販売に加えて、工事をセットとした住宅・非住宅への対応を強化している。非住宅物件は公共物が中心で、テックワンプラスを使い14目

これまで、切削金物リアを大幅に拡大。最大で3000×1250OOD・ALCは、耐